



黒板とチョークでやる気を引き出す

3
分間
ストー
リー

第13回

学校はRPG

学校に来る目的について考えるストーリー



大阪府堺市立鳳南小学校教諭

三好 真史

みよし しんじ 心を育てる教員サークル大阪ふくえくぼ代表。子どものやる気を引き出すストーリーを考案し、発信しています。メンタル心理カウンセラー。



新しい年度が始まりました。子どもたちは、新たな生活を迎えるにあたり、意欲に燃えていることでしょうか。

しかし、なかには「なぜ学校へ行かなければならないのか?」と疑問に感じている子どももいることがあります。

今回は、新しい年度の始まりに、学校へ来て学ぶことの意義をあらためて考えさせるストーリーを紹介します。

「学校へ来て学ぶ」ということ

いよいよ、新しい学年、新しい学級での生活が始まりました。

今日は、「学校へ来て学ぶ」ということについて、考えてみましょう。

よく考えてみてくださいね。

勉強って、別に学校へ来なくたって、できそつですよ。今や、インターネットの時代です。動画などからでも、学ぶことができます。学校以外の場所でも、勉強することが可能なのです。

それなのに、どうして、わざわざ学校へ来て勉強する必要があるのでしょうか。隣の人と、話してみましよう。



学校はRPGゲーム

突然ですが、みなさんは、ゲームが好きですか?

ゲームにたとえて話をしてみましょう。ゲームのなかには、冒険するものがあります。RPGゲームですね。

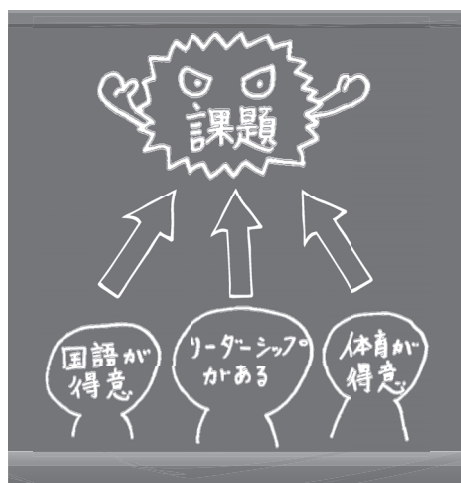
RPGゲームでは、仲間を連れていく場合があります。冒険の途中で、出会った人を仲間にするのです。

はじめは、勇者が一人で冒険を始めます。そこへ、戦士や魔法使い、僧侶などが仲間になっていきます。みんなで力を合わせて、進んでいきます。

戦士が武器を持って戦います。魔法使いは、魔法を使って攻撃します。僧侶は、傷ついた仲間を回復させます。チームで力を合わせて、強い敵を倒していくのです。

一人でできることは、たかがしれています。一人では成し遂げられないことも、みんなであれば、可能になるのです。

学校というのは、このRPGゲームとよく似ていますか？ 学校へ集まってくる、ともに勉強をすることで、一人での勉強では到達できない高みに到達できるのではないのでしょうか。



個の力を活かす

しかしですね、想像してみてください。もしも、RPGゲームで、仲間がみんな戦士だとしたら、どうでしょうか？ 怪我をしたときに、回復することができなさそうですね。

みんなが勇者だと、どうでしょう？ みんなが自分を主張して、バラバラになっってしまうような気がしますね。

チームというのは、メンバーがそれぞれの得意なことを活かすことで、成り立っているのです。

学校も、それは同じです。

リーダーシップと人望のある人が、学級委員になります。そして、体育が得意な人は、体育大会で活躍し、みんなを引っ張っていただきます。勉強が得意な人は、授業のなかで、勉強をみんなに教えてあげてください。

このクラスのなかで、自分がどの役割を担うのか。それをよく考えて、自分の長所を活かして、仲間のためにできることをやってください。



みんなそれぞれの良さを出し合い、力を合わせることで、一人の勉強ではたどり着けないような、高いところまで行ってみようではありませんか。

【解説】

ゲームが好きな子は多いもの。もしゲームでいまいち反応が悪い場合は、「ワンピース」や「ドラゴンボール」などのテレビアニメのストーリーを借りて解説するのもよいでしょう。どちらも、仲間を得て、協力して成し遂げていくお話です。

職員だって、体育の得意な人が体育主任をやっていたり、パソコンに堪能な人がICT担当になっていたりします。そういう大人の例を挙げて、チームで連携して課題を乗り越える大切さを伝えられるとよいのではないのでしょうか。